

令和8年沖縄全戦没者追悼式

県では、先の大戦で犠牲となった戦没者のみ霊を慰めるとともに、世界の恒久平和を希求する「沖縄のこころ」を発信するため、6月23日の慰霊の日に、糸満市摩文仁の平和祈念公園で「令和8年沖縄全戦没者追悼式」を開催しました。

沖縄全戦没者追悼式

式典には、来賓の高市内閣総理大臣、森衆議院議長、関口参議院議長、関係閣僚のほか、県内外から遺族関係者など、約3,200人が参列しました。

来賓あいさつで、高市内閣総理大臣は、「我が国は、二度と戦争の惨禍を繰り返さないという決然たる誓いのもと、平和を重んじる国家として歩みを進めてまいりました。これからも、日本人の誰もが、平和で心豊かに暮らせる世の中を実現するため、不断の努力を重ねていくことをみ霊にお誓い申し上げます。」と述べました。

また、式典終了後は、一般焼香が行われ参列者の方々

は戦没者のみ霊に手を合わせ、戦没者の追悼と恒久平和を祈念しました。

平和宣言と平和の詩

玉城知事は、令和8年平和宣言において、「犠牲になられた全てのみ霊に心から哀悼の意を表するとともに、世界の恒久平和・核廃絶に沖縄が貢献する未来を目指して、不戦を誓い、反戦を訴え、非戦の道を探求する」ことを宣言しました。

豊見城市立豊崎中学校2年生の亀谷琉奈さんは「生きたいと願った証」と題して、「だから私は忘れない 沖縄戦で苦しんだ人たちを 愛する人を守ろうとした想いを 泣きながら生き抜いた人たちを そして 曾祖母の右足の傷を 生きたいと願った証の傷を 平和な未来へと繋いでいくために」と決意した詩を朗読しました。

豊見城市立豊崎中学校2年生の亀谷琉奈さんは「生きたいと願った証」と題して、「だから私は忘れない 沖縄戦で苦しんだ人たちを 愛する人を守ろうとした想いを 泣きながら生き抜いた人たちを そして 曾祖母の右足の傷を 生きたいと願った証の傷を 平和な未来へと繋いでいくために」と決意した詩を朗読しました。



玉城知事



亀谷琉奈さん

問い合わせ

保護・援護課

電話：098-866-2428

食品ロス削減チャレンジキャンペーン



食品ロス削減県民運動ロゴマーク
(愛称『のこSUN』)

県では、「食品ロスダイアリー※」を記録していただく皆さまを募集しています。食品ロスは、気づかないうちに発生していることが多いと言われており、「記録する」ことで現状を知ることが、無理なく食品ロスを減らしていく第一歩になります。皆さまのご応募をお待ちしています。

※食品ロスダイアリーとは、家庭で発生した未使用や食べ残しなどの廃棄食品の種類や量を、一定期間毎日記録する日記のことです。



対象者

県内在住の方（ご応募は1家族につき1回まで）

応募条件

- ① 集計および参加賞発送の都合上、Web上での提出・受領が可能の方。
- ② 食品ロスダイアリーを、連続した2週間分記録できる方。
- ③ 食品ロスダイアリーに関する感想や、気づいたことを入力できる方。
- ④ 提出いただいたデータ（個人情報を除く）を、県が集計・公表することに同意いただける方。

参加賞

「Amazonギフト券」
(3千円分)を
先着30名様にプレゼントします。



キャンペーン
ページ

問い合わせ

生活安全安心課

電話：098-866-2187



熱中症は予防が大切！こえかけで防ごう！

こまめな水分補給

炎天下を避けよう

風通しを良く

健康管理！



今日の暑さ
指数を確認
してみよう！